

平成30年度使用教科書選定理由書

【1 選定に係る基本方針】

本校では、変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、物事に主体的に取り組む意欲を醸成し、また、グローバル社会の中で異文化に対し寛大であるよう、多様性を尊重する態度を育てています。さらに、基礎的、基本的な知識・技能の習得をベースに、他者と協働するための資質・コミュニケーション能力の養成に重点を置いています。

このような観点のもと、「目指す学校像」を以下のように改定しました。

「基礎的な知識・技能の習得を基本に、主体的に取り組む意欲、多様性を尊重する態度、他者と協働するための資質・能力を身につけた「人財」の育成を目指す学校」

この「目指す学校像」を実現するために、本校では以下の4点を重点目標として掲げた教育活動を行っています。

- 1 教員の授業力を高め、生徒の学ぶ意欲を喚起して、基礎学力を定着させる
- 2 社会を構成する「人財」としての資質・能力を身につけさせる
- 3 志を高く持たせ、第一希望の進路実現を目指す
- 4 開かれた学校づくりを推進し、地域の教育力を活用する

教科書についても、管理職から以上の内容を踏まえた学校経営方針を企画委員会、職員会議等で明示し、教科書選定委員会の主導のもと、各教科で以下の4点の基準を満たす教科書を慎重に選定するものとしています。

- 「目指す学校像」の実現のために、内容が適切か
- 生徒の生活実態、学習経験、興味・関心、進路等に適切な配慮がされているか
- 本校生徒の学力の実態と、教科書が目指す達成目標に過度に大きな乖離はないか
- 生徒の学習意欲を喚起する内容となっているか

※ 学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。